

考えてみませんか、私の人権、あなたの人権。

人権だより

総務課（吉備庁舎）

電話 22-3291
ファクス 52-3210

電話による人権相談窓口

みんなの人権 110 番（さまざまな人権問題）
☎ 0570-003-110

こどもの人権 110 番（いじめ・虐待など子どもの人権問題）
☎ 0120-007-110

逆転しない正義とは

「なんのために 生まれて
なにをして 生きるのか
こたえられないなんて
そんなのは いやだ！」

これは『アンパンマンのマーチ』の歌詞の一部です。13年前、やなせたかしさんが亡くなられたときの新聞記事で、やなせさんご本人が作詞したこと、そして歌詞全体を初めて知りました。まず驚いたのが冒頭の2行です。子ども向けのアニメの主題歌でありながら、深い内容で哲学の世界だと感じました。

また最近、朝ドラで『あんぱん』が放送されました。ドラマの中で「逆転しない正義とは？」というセリフが何度も出てきました。お国のために貫いてきた正義が敗戦によって崩れ、戦地での飢えの体験や弟の戦死という深い悲しみの中で「正義とは何か」という問いが、やなせさんの頭から離れなかったそうです。

「今も昔も、自分たちが正しいと理屈を付けて戦うけれど、戦争とは結局殺し合いであり、正義の戦争なんてない。本当の正義とは、おなか

が空いている人に食べ物に分けてあげること。それは人を生かすことであり、命を応援することだ」

やなせさんのこの思いからアンパンマンが生まれ、その考えが物語の根底に流れています。

また、やなせさんは「このところ世の中全体が、嫌なものもみんなやっつけてしまおうという、おかしな風潮がある」という言葉も残しています。まさに、現在の国内外の情勢を予言しているかのようです。自分勝手な正義を振りかざしている、トップの地位にいる人たちの顔が何人も思い浮かびます。紛争地域だけでなく、一般社会の中でも、耳を疑うような事件が起こっています。

人の命を奪うために生まれてきたということは絶対にはあり得ません。明日を生きたくても、生きられなかった人がいる。何のために生まれて、何のために生きるのか。自分なりの答えを見つけられるようにしていきたいです。

人権機関有田川理事 石井静佳

弁護士相談もあります 人権相談窓口

和歌山県が設置している公益財団法人和歌山県人権啓発センターでは、人権相談の受け付けや弁護士による法律相談を行っています。独りで悩まず、ご相談ください。

（公財）和歌山県人権啓発センター

●人権ホットライン（常設相談）

電話相談、面接相談に応じます。

・日時／月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）9時～16時

・問い合わせ先

☎ 073・421・7830

●弁護士による法律相談

面接相談、有田振興局からのオンライン相談が可能です。

※事前予約が必要です。

・開設日／奇数月は第2土曜日・第4木曜日、偶数月は第2・第4木曜日

・問い合わせ先

☎ 073・435・5420

